



心豊かな安心して暮らせる町づくり

吉岡町長 石関 昭

ら、自分達の地域は、自分達で守り、育てるといふ、正に地方自治の原点の確立を語ると言つても過言ではないと思ひます。さらなるご支援をよろしくお願い申し上げます。

また、駒寄スマートインターチェンジが本格運用となり、一日4,000台超が利用され、日本一の利用台数となつておりまして、町に進出する企業も増えてくる事が期待されます。さらなる飛躍をとげるために交通アクセスとインフラ整備を行うため、群馬県や近隣市町村に協力を求めながら、安全で、さらに利用しやすいインターチェンジを目指します。

前浜バイパスの工事も進み、漆原に予定している道の駅構想につきましては、すでに「道の駅整備検討委員会」と部会にお願いして、場所の選定や運営方法など検討に着手したところであります。先見洞察し、単なる通過点の休

憩所でなく、地場野菜を中心とする、「地産地消」を第一目的ととらえ、それにふさわしい直売所を考えた経営が期待されます。また高浜バイパスも確実に進展してまいります。よしおか温泉リゾートピア吉岡は、まずは通年券を再開しました。温水プール再開につきましては、福祉対策と位置づけ、いち早く、温泉施設の管理などに係る調査研究懇談会で研究しております。

問題は山積しておりますが、英知を結集して取り組んで参ります。更なる原油の高騰で、再開に向けての状況は厳しくなつていますが、温暖化問題を考えたとき、地球環境にやさしい代替エネルギーも検討した中で、再開を目的に取り組んでまいります。

昨年も中学生の総体、文化活動などの活躍がありました。駅伝、サッカー、バレーボール、卓球、陸上部など、県大会優勝に続いて関東大会

に出場。特筆すべきは駅伝部の男女そろつての出場です。男子はみごと3位に入賞し、山口県で行われた全国大会では、4位という輝かしい成績を収めました。文化面の英語弁論大会、各種ポスターや作文コンクールでの入賞など、紹介したくとも紙面が足りません。吉岡中が正に「文武両道」の成果をあげており、町の将来を背負う若者への期待は、心豊かな町づくりの土台であると確信するとともに、夢と希望をも与えてくれました。

”ありがとう”
結びに、町民の皆さまがご健康でご多幸でありますよう、心よりお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

町民皆さまとともに、栄えある新年を祝福できますことを心からお喜び申し上げます。

「一年の計は元旦にあり」古い言葉ですが、常に新しい意味があります。いつそう新たな、意義ある心豊かな安心して暮らせる町づくり、町民がより住みよい生活ができるよう基本となる設計を見つめなおして、町民の皆さまおひとりおひとりが、よりよい一年となりますよう、勇往まい進、努力してまいります。

さて、本年4月からの「自

治会」制度への移行を目指して、昨年度より準備を進めてまいりました。町民皆さまのご理解がいただけるよう、区長会、町議会を中心に研究と努力をしていただいております。職員もまた一丸となつて支援できる体制を整えておりまして、実現へ向けて着実に地歩を固めております。「自治会」は「地域の人達がよりよく暮らしていくための協働体」を創るといふことではないでしょうか。

少子高齢化が進んでいく中、町と自治会が連携しなが





住みたい町、住んで良かった町を目指して

議長 栗田 政行

社会保険庁の問題は、国民の国に対する信頼を失うだけでなく、今後不安を与える大きな問題であります。また、7月には中越沖地震が起きました。被災された皆さまには謹んでお見舞い申し上げます。

000台を数えており、群馬県にもアクセス道路の陳情などをを行い、またまちづくり交付金事業によって改修・拡幅工事を進めているところであります。

合併せず自立を選択して2年経つところですが、大変厳しく困難も予想されていきます。「吉岡町」が今と同様発展し、住みたい町、住んで良かった町と言われるように、吉岡町議会として努力していく所存であります。

輝かしい新春を、ご家族皆さままでお迎えのこととお喜び申し上げます。

が、全体では民主党が圧勝しました。

昨年、統一地方選挙の年であり県議選に始まり町長選、町議選、そして夏には知事選、参議員選が行われました。

9月には安倍総理が辞職し、10月には本県選出の福田康夫総理が誕生しました。我が群馬県から4人目、親子では初めての総理だそうです。国会も衆・参ねじれ現象の時期で大変ですが、リーダーシップを取り安定した国政に導いていただきたいと思っております。

その結果、知事選においては自民党が支持した大沢新知事が誕生し、参議員選では現職の山本一太氏が当選しまし

た。

秋口からは、原油価格が高騰しており、12月には過去にもなかった価格で国民の生活に大きな影響を及ぼしており、今後の国の対応に期待するところであります。

我が吉岡町では、吉岡バイパス沿線に今もなお企業が進出しており、前橋との境はわからなくなるようです。駒寄スマートインターチェンジも恒久化になって一年経ちました。一日の利用台数は約4、

中心に設立準備委員会などが設置され、検討が進んでおります。規約・内規の確認もでき、早い区では設立総会も終了したと伺っております。町でも職員を各区に3年間3人を配置し、今後の運営にも協力してもらいます。

今年が、町民各位ご家族にとりまして幸せな年であります様ご祈念申し上げます。挨拶と致します。

